

博物館の地域の連携

—世界記憶遺産登録よってうまれたもの—

舞鶴引揚記念館 学芸員
長嶺 睦

はじめに

第二次大戦終結から70年の節目を迎えた2015年10月10日、舞鶴引揚記念館が収蔵する資料の中から570点がユネスコ世界記憶遺産(以下 記憶遺産)に登録された。この記憶遺産登録が、地方博物館と地域との連携を生み出すこととなり、そうした連携の中には、私たちが想像もしなかったような取り組みも次々と誕生し、記憶遺産登録がもたらした地域との連携や地域への活力について述べる。

また、今回の発表は2019年9月に京都国際会館(京都市)で開催されるICOM(国際博物館会議)のプレ大会として、2018年9月30日に開催されたICOM舞鶴ミーティングで世界の博物館関係者へ発表した内容をもとに再構成したものである。

記憶遺産登録の取り組み

舞鶴引揚記念館は2012年4月に指定管理者制度から舞鶴市の直営施設となり、減少する来館者の対策とあわせて、シベリア抑留と引き揚げの史実を後世へ伝える取り組みを開始した。直営化とあわせて、記念館資料の記憶遺産登録へ向けた取り組みが始まった。

記憶遺産登録へ向けた取り組みの中で、市民団体が登録応援署名を集める活動を申し出たことにより、登録へ向けた市民の機運醸成を後押しすることとなった。これが、引揚記念館における地域との連携の始まりとなったといえる。



写真1 市民による署名活動の様子

記憶遺産登録決定によってうまれたもの

記憶遺産登録の理念は、薄れゆくシベリア抑留や引き揚げの史実を後世へと伝え、世界へむけた平和への想いを発信するものであった。記憶遺産登録によって、記念館に集積された多くの資料が世界的な遺産であることに改めて気づきを得た市民、とりわけ戦争の惨禍を知らない小中高校生が次世代への継承への取り組みを自主的に始めるきっかけとなった。

記憶遺産登録直後には、東舞鶴高校の生徒によるシベリア抑留を伝える紙芝居「クロ物語」の英訳とインターネットによる発信、2016年2月には倉梯第二小学校の6年生によるシベリア抑留から帰還までを伝える自主製作の舞台劇など幅広く、かつ様々な手法による史実の継承がおこなわれた。倉梯第二小学校6年生の舞台劇は、生徒自ら脚本・演出を手がけ、教員のサポートをほぼ受けず見事な完成度だった。

また、2019年2月8日には新舞鶴小学校の6年生が、同校の体育館で抑留と引き揚げを紹介する「新小引揚記念館」を開催した。各クラスの班が抑留中の労働の体験や生徒たちが作った手作りのアルミスプーンの展示をおこなうなど、博物館も驚くような柔軟な発想に基づいた展示をおこなった。

中舞鶴小学校の6年1組は総合学習の年間の研究テーマとして、抑留と引き揚げを取り上げて体験者からの聞き取りや記念館での自主学習を重ね、2018年2月1日から2月28日まで舞鶴市内の金融機関でポスター展示をおこなったほか引揚記念館のPR動画を作成して上映をおこなった。



写真2 高校生による英語の紙芝居(スライド上映)



写真3 倉梯第二小学校による舞台上演

中学生語り部の誕生

2017年1月には、舞鶴の中学生3人が自主的に語り部となり、次世代へ抑留と引き揚げの史実の継承をはじめた。舞鶴引揚記念館には、成人の語り部がボランティアガイドとして活動していたが、中学生が記念館で語り部として活動するのは初めてのことだった。戦争の記憶を伝えるガイドとして活動する中高生の事例は広島・長崎・沖縄で見られるが、中学生が自発的に活動に参加することは、全国的にみても未だ稀なケースと考えられる。

これからの取り組み

2018年4月に舞鶴引揚記念館は開館から30年の節目を迎えた。これまでの記念館のあゆみを記録するために、記念館の開館に携わった元舞鶴市職員や市民からの聞き取りを府立大学の上杉和央准教授とおこなっている。記念館の設立には多くの市民が関わったことが大きな特徴で、30年のあゆみを記録するために市民との連携は欠くことができない。

表紙の解説

	1	2	3
5		4	
(裏)		(表)	

- 1 「舞鶴の歴史アラカルト」パンフレット
- 2 文書蔵出し調査風景 東昇撮影
- 3 舞鶴地方史研究会との共同調査 東昇撮影
- 4 舞鶴クレインブリッジ 松岡秀雄氏撮影
- 5 東舞鶴高校での授業風景 廣瀬邦彦氏撮影

京都府立大学文化遺産叢書（2008～）

- 1 南山城・宇治地域を中心とする歴史遺産・文化的景観の研究
- 2 近世伊予越智島地域における流動する人・物・情報
—御用日記・諸願控の総合的研究—
- 3 八幡地域の古文書と石清水八幡宮の絵図—地域文化遺産の情報化—
- 4 八幡地域の古文書・石造物・景観—地域文化遺産の情報化—
- 5 丹後・宮津の街道と信仰
- 6 城陽市域の地域文化遺産—神社・街道の文化遺産と景観—
- 7 熊野の信仰と景観—宗教遺産学の試み—
- 8 石見銀山域の歴史と景観—世界遺産と地域遺産—
- 9 和束地域の歴史と文化遺産
- 10 八幡・南山城地域の寺院資料と信仰—京都府歴史資料調査—
- 11 舞鶴の文化遺産と活用
- 12 「丹後の海」の歴史と文化
- 13 古代寺院の儀礼・経営に関する分野横断的研究
- 14 舞鶴・京丹後地域の文化遺産
- 15 沖縄の宗教・葬送儀礼・戦没者慰霊



京都府立大学文化遺産叢書 第16集
舞鶴の地域連携と世代間交流
井上奥本家文書調査報告

編集 東 昇
発行 京都府立大学文学部歴史学科
〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町1-5
発行日 2019年3月30日
印刷